



稲作農家 各位

山武稲作情報 第5報

(2021年7月20日発行)

山武農業事務所 改良普及課
 電話 0475-54-0226
 FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

梅雨明けを迎えました。4月植えの「ふさおとめ」「ふさこがね」の出穂期は7月12日から14日で平年並みでした。「コシヒカリ」も7月18日で平年並みとなっています。また、病害虫発生予報第4報によると、いもち病、斑点米カメムシ類共に発生量は「多」から「やや多」となっています。山武管内でもいもち病は多く確認されており、早めの防除、治療を心がけ、被害拡大を防ぎましょう。

表1 作柄調査ほ等の生育（平年値は過去10年（成東育成地は7年）の平均）

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期(予測値)
【飼料用米】					
アキヒカリ	山武市	2021	5/7	6/16	7/9
夢あおば	山武市	2021	5/14	6/30	(7/27)
【主食用米】					
ふさおとめ	山武市 (白幡)	2021	4/25	6/16	7/12
		2020	4/29	6/18	7/10
		平年値	4/27	6/20	7/12
	山武市 (成東育成地)	2021	4/26	6/15	7/12
		2020	4/24	6/12	7/7
		平年値	4/24	6/16	7/11
ふさこがね	山武市 (井ノ内)	2021	5/3	6/20	7/17
		2020	5/2	6/20	7/17
		2020年から新設のため平年値無し			
	山武市 (成東育成地)	2021	4/26	6/18	7/14
		2020	4/24	6/15	7/10
		平年値	4/24	6/17	7/13
コシヒカリ	東金市 (幸田)	2021	5/3	6/23	(7/22)
		2020	5/2	6/26	7/22
		平年値	4/26	6/28	7/22
	山武市 (成東育成地)	2021	4/26	6/24	7/18
		2020	4/24	6/20	7/15
		平年値	4/24	6/24	7/20
粒すけ	東金市(前之内)	2021	5/6	6/25	(7/23)
	山武市 (成東育成地)	2021	4/26	6/24	7/18
		2020	4/24	6/19	7/14

表2 出穂期(予測値)

品種	ふさおとめ		ふさこがね			コシヒカリ			粒すけ		
	移植日	4/20	5/1	4/20	5/1	5/15	4/20	5/1	5/15	4/20	5/1
出穂期	7/10	7/14	7/11	7/16	7/25	7/19	7/24	8/1	7/18	7/24	8/2

予測値は令和元年度試験研究成果普及情報の推定式により気温（アメダス横芝光）から計算して推定（「粒すけ」は調査ほ等の生育から推定）。移植時の苗の葉令、活着状況、ほ場ごとの気象条件、予測日以降の気象条件等による誤差あり。

次回の情報は8月2日（火）に発行する予定です。

これからの管理のポイント

○カメムシの種類に適した防除を実施しましょう

病害虫発生予報第4報によると、斑点米カメムシ類の発生は大型カメムシで「多」カスミカメムシ類で「やや多」となっています。防除適期は穂揃期と乳熟期です。表3を参考に防除を行い、品質低下を防ぎましょう。また、飼料用米も主食用米同様に防除をし、収量確保を図りましょう。（防除薬剤は「水稻の生育状況と当面の対策第5報」を参照）

ホソハリカメムシ (10mm)
クモハリカメムシ (16mm)
イネカメムシ (12mm)

(5-6mm)
カスミカメムシ類

これらの大型カメムシは、畦畔や雑草地に生息し、イネの穂が出ると飛来して産卵します。その後幼虫が発生し、**出穂15日後頃（乳熟期頃）に成虫と幼虫が混在して加害**します。また、**虫体に直接薬剤がかからないと、薬剤の効果が十分に発揮されないため、液剤を使用しましょう。**

加害部位はカメムシの種類により異なります。

無差別
(ホソハリカメムシ)

側部
(クモハリカメムシ)

基部
(イネカメムシ)

小型のカスミカメムシ類は、畦畔や雑草地に生息しており、イネの穂が出ると飛来し、**割れ籽の隙間から吸汁**します。出穂期後ほ場に**断続的に飛来**するため、**粒剤や、豆つぶ剤の使用が有効**です。

頂部

表3 山武地域の出穂期に応じた防除適期

移植日	品種	7月		8月			9月	
		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
4/20頃	ふさおとめ ふさこがね	穂揃 ①	②			刈取		
	コシヒカリ 粒すけ		穂揃 ①	②			刈取	
5/1頃	ふさおとめ ふさこがね		穂揃 ①	②			刈取	
	コシヒカリ 粒すけ			穂揃 ①		②		刈取
5/15頃	ふさこがね		穂揃 ①			②		刈取
	コシヒカリ 粒すけ				穂揃 ①		②	刈取

・穂揃期は出穂期予測から推測

①: 1回目防除、穂揃期(8~9割の穂が出た頃) ②: 2回目防除、乳熟期(出穂15日後頃、多発生時のみ)

※ 1回目の防除が共同防除のタイミングとずれる場合は、個別に防除を行いましょう。

○梅雨の影響について

梅雨期に曇天雨の日が続いたことで、いもち病の発生が各地で多く確認されています。葉いもちが穂いもちに移行すると、減収に繋がります。ほ場をよく確認し、病斑が見られた場合は、治療効果のある薬剤を用いて対処しましょう。（防除薬剤は「水稻の生育状況と当面の対策第4報」を参照）